

ちばNPOクラブ主催
ブログで情報発信しよう！3時間でできるブログ講座

CANPANのご紹介

2008年12月2日（火）・6日（土）
於：千葉市ビジネス支援センター・OVTA本館

日本財団 システム統括グループ
情報コミュニケーションチーム
荻上 健太郎

<http://blog.canpan.info/kaizokudan/>

目次

1. 日本財団とは？
2. CANPANのご紹介
3. CANPANブログは
団体の情報発信の強い味方
4. CANPANで団体の情報開示も
しっかりできます

1. 日本財団とは？

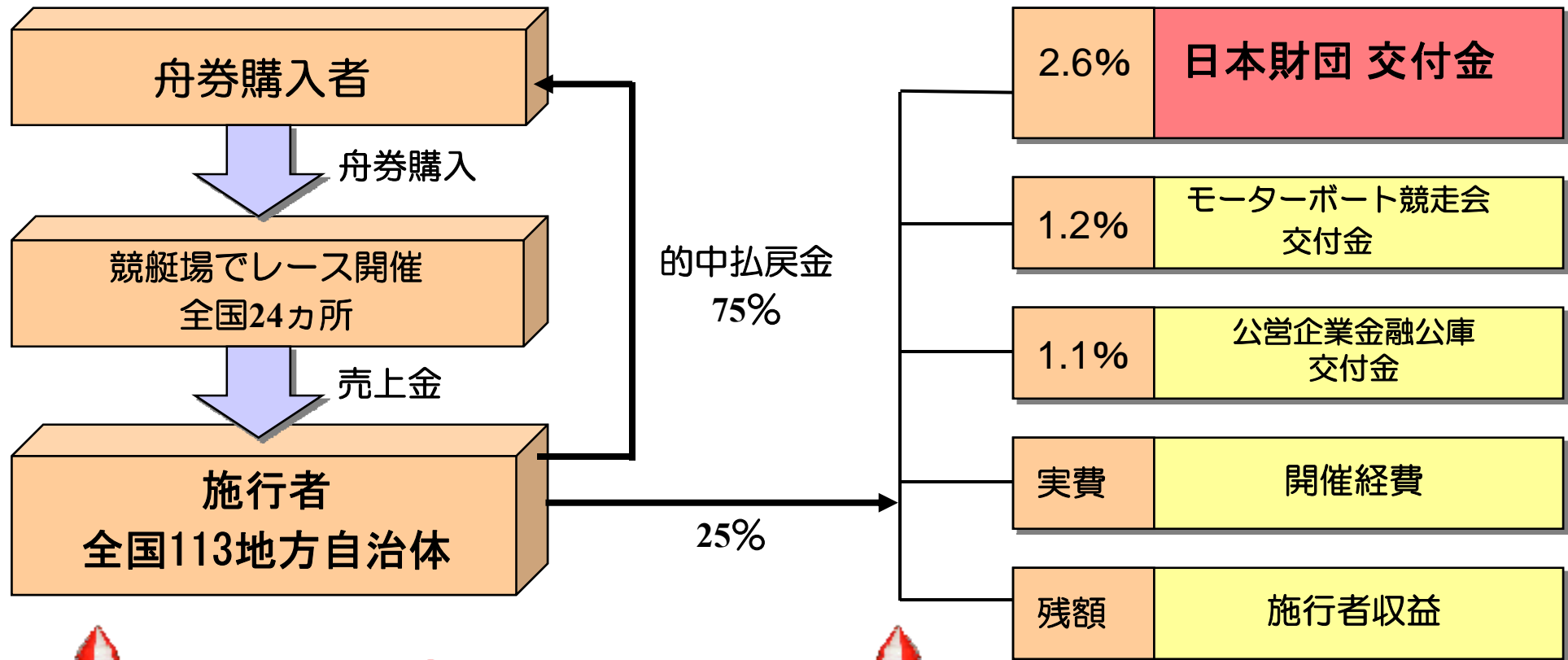
1. 日本財団とは？

- ・1962年設立の民間の助成財団
- ・正式名称は、（財）日本船舶振興会
- ・競艇の売上金（2.6%）をもとに活動
- ・国（官）ではできないことや、施策が行き届かない問題の解決のために、「公の心」をもちながら「民の視点」で取組んでいます。

1. 日本財団とは？

「モーターボート競走法」(1951年制定) により規定

競艇の売上金の流れ



1. 日本財団とは？

競艇場：24ヶ所

場外売り場：33ヶ所



1. 日本財団とは？



日本財団（にっぽんざいだん）は、競艇の売上の2.6%をうけて、全世界のハンセン病の制圧プロジェクトやマラッカ海峡の航行の安全といった大型プロジェクトから、災害におけるボランティア活動にいたるまで、様々な「社会のお役に立ちたい」という事業を支援している助成団体です。



日本財団の事業 ～ 3つの柱 ～

1. 海や船に関する支援
2. 文化、教育、社会福祉等に関する支援
3. 海外の協力援助活動への支援



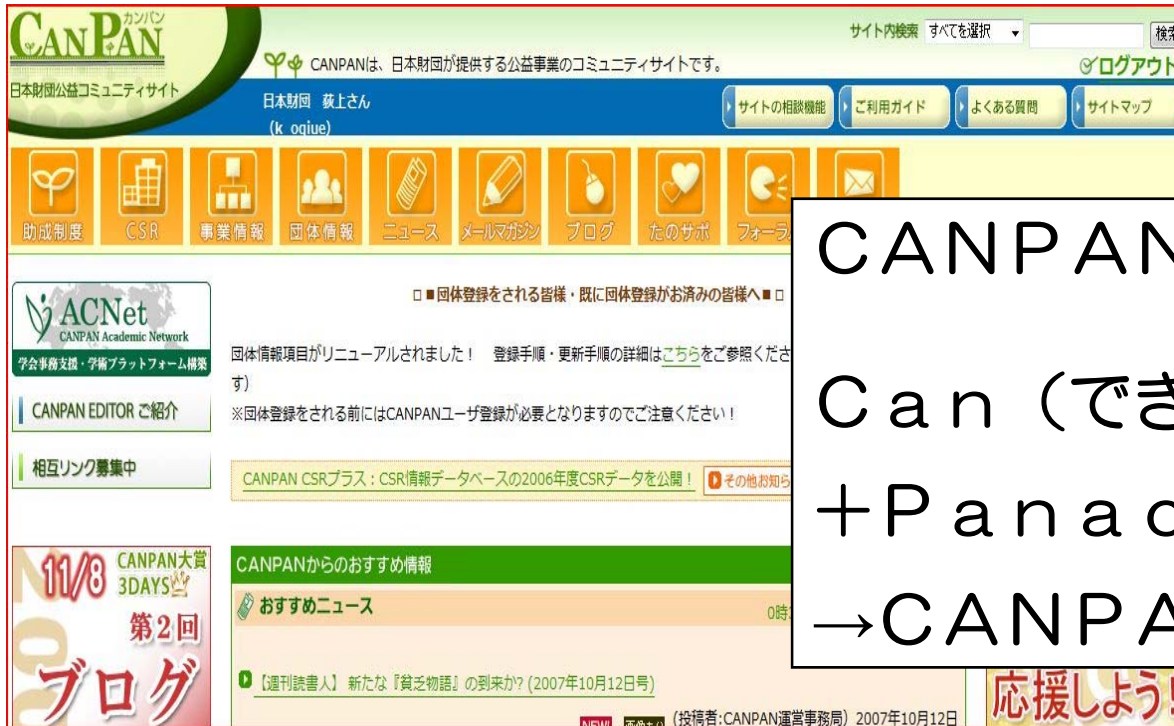
【2007年度実績：3,475事業 約252億円】



2. CANPANのご紹介

2. CANPANとは？

公益に関わるすべての人にご利用いただける
ウェブサイトです。



CANPAN (カンパン) の由来は？
Can (できる)
+ Panacea (万能薬)
→ CANPAN (なんでもできる)

<http://canpan.info/>

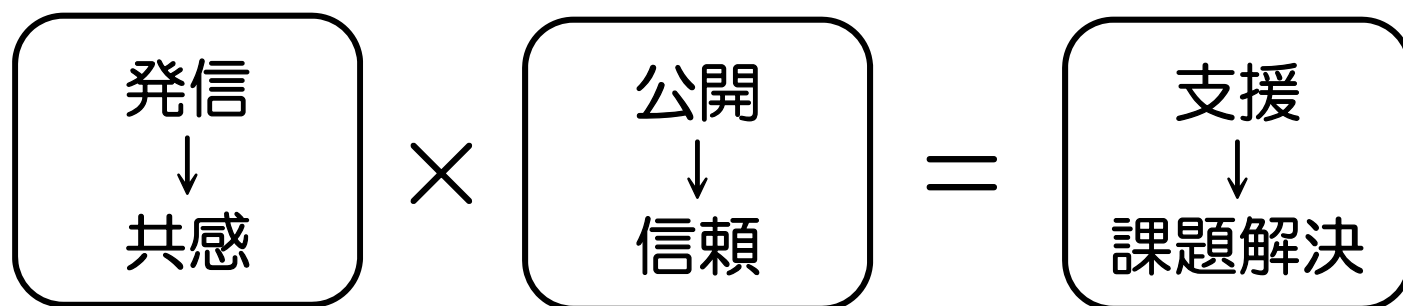
2. CANPANのミッション

■CANPANのミッション

「共感×信頼＝支援」というコンセプトに基づく社会情報インフラを提供し、公益活動を支援することで、民が民を支える社会を推進し、明るく元気な暮らしやすい日本を実現する。

このミッションを実現するため、「世のため人のために」という思いをもつ全ての人にご利用いただける公益コミュニティサイトがCANPANです。

■CANPANのコンセプト



2. CANPANの主な機能

- (1) 団体や個人の情報発信をサポート→CANPANブログ
- (2) 団体の情報開示をサポート→団体情報開示機能
- (3) CSRに関するコミュニケーションをサポート→CSRプラス
- (4) 地域で地域を支える仕組みをサポート→ポータル機能
- (5) 公益活動の知的財産共有をサポート→日本公益図書館
- (6) 公益流通をサポート→カード決済機能（2008年11月から）

様々な情報・機能を用途に合わせてご利用ください！

2. CANPANの現状

< CANPANの現状データ（2008年10月時点） >

ビジット数 : 163万人（月間）

ページビュー数 : 1,000万ページ（月間）

ユーザ数 : 8,279名

登録団体数 : 3,059団体

ブログ数 : 3,921ブログ

（団体ブログ : 851ブログ）

（個人ブログ : 3,070ブログ）

登録企業数 : 1,937社

3. CANPANブログは 団体の情報発信の強い味方

3. CANPANブログの特徴

CANPANブログは、日本で唯一の「公益専門」のブログサービスです。ブログはホームページにもなり、携帯からの更新もできるので、効率的で効果的な情報発信が簡単に実現可能です。

<CANPANブログの特徴>

- (1) 無料なのに広告がない
- (2) 実名主義で信頼のあるコミュニティ
- (3) 著作権がユーザにあるので安心
- (4) ワードやPDFなどのファイルも公開できる

CANPANブログ：<http://blog.canpan.info/>

3. CANPANブログの事例紹介

(1) 鬼瓦隠れ日記

会報や講座申込書のファイルを公開！通信費の削減と広報ツールの拡張！

<http://blog.canpan.info/onigawara/>

(2) みなおブログ =南大隅町教育委員会=

教育委員会もブログ！学校や地域との信頼で顔の見える発信！

<http://blog.canpan.info/minao/>

(3) コミュニティ2.0～地域の夢と希望が奏でるブログ～

行政も部課名を公開してで情報発信中！

<http://blog.canpan.info/morikichi/>

(4) チャイルド・ケモ・ハウス

ブログの共感が寄付を集める！目指せ寄付8億円！

<http://blog.canpan.info/kemohouse>

(5) NPO会計道

NPOを応援する税理士がノウハウを前面開放中！

<http://blog.canpan.info/waki/>

4. CANPANで団体の情報開示も しっかりできます

4. CANPANの団体情報開示機能

社会からの信用獲得に必要な、適切な情報開示の基盤を提供。

■団体情報開示機能■の特徴

1. 項目設計の汎用性

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]が実施した、全国53助成機関の81プログラムを対象とした「申請書で何が聞かれているのか？」調査の結果を参考に項目設計しているため、情報の必要性と汎用性が高い。

2. 情報開示レベルの視覚化

情報開示の取り組みレベルを★印5段階で視覚化。情報開示に積極的に取り組んでいる団体が一目で分かります。

3. 第三者認証による信用保証

ポータル機能（後述）と連動することで、第三者認証による信用保証の確認が可能。

4. CANPANの団体情報開示機能

■団体情報開示機能の今後の展開■

- ・ 助成金申請と連動

日本財団の助成金にインターネット申請する際、CANPANで情報開示している項目がそのまま流用可能。将来は他の助成機関にも展開を検討。

- ・ 決済機能との連動

情報開示レベル★5つの団体に、簡単（審査不要）、気軽（無料から）に利用できるカード決済の仕組みを提供予定。

5. 公益ポータルのご紹介

5. 公益ポータルのご紹介

みんなみんなポータル：http://minmin.canpan.info/
運営：せんだい・みやぎNPOセンター



「サポート資源提供システム」と「NPO情報ライブラリー」

5. 公益ポータルのご紹介

■公益ポータルとは？

- 地域で地域を支える取り組み
→「人、もの、金、情報」などの経営資源を地域で流通
- 流通の基盤は情報
→流通には情報が必ずついて回る
- 情報が集まる場（＝ポータル（情報の港））
→情報が集まる場、一元的にみられる場があると加速する
- 場を構築するシステム（＝公益ポータル）
→場を構築するシステムをCANPANが提供

5. 公益ポータルのご紹介

■情報インフラの注意点

- ・ 枠組みを狭くすると閉じた世界を構築してしまう
- ・ 一度構築すると運用のコスト（費用と人材）がかかる
- ・ 利用されないインフラはむしろお荷物

■情報インフラを共有するメリット

- ・ 共有することで世界がつながりあう
- ・ 個別の投資よりもコスト（費用と人材）が安くすむ
- ・ 相乗効果でより高い効果がうまれる

5. 公益ポータルのご紹介

■公益ポータルのメリット（NPOにとって）

- ・ 中間支援の第三者認証による信用保証
- ・ 効率的で効果的な情報開示のサポートを得られる
- ・ 単独での発信よりも情報発信力が高まり、得られる効果も大
- ・ 地域を支える仕組みの好循環の輪に入れる
- ・ ブログ、CSRプラス、決済機能等の各種機能との連携効果
- ・ 運営者が日本財団である信頼性と安心感

5. 公益ポータルのご紹介

■公益ポータルの今後の展開

- 地域・テーマ公益ポータルプロジェクト
→全国から18の中間支援組織が集まり、どのような公益ポータルが必要なのか？推進するには？を検討
- 2008年度中に構築予定
 - (1) とちぎコミュニティファンド（栃木県）
 - (2) ちばNPOクラブ（千葉県）
 - (3) きょうとNPOセンター（京都府）
- 2009年度以降
→各地での公益ポータル構築に向けて推進

終わりに

地域のこれからを支えるためには、個人や団体、企業、学校、行政など全ての人が、地域の構成員として、それぞれの立場からそれぞれの役割を果たすことが必要です。

多くの構成員が関わるからこそ、お互いの信頼関係の基盤となる情報開示・情報発信や、相手を尊重した伝わるコミュニケーションが欠かせません。

情報開示・情報発信は努力目標ではなく、基礎条件であるという思いをもって頑張りましょう!

本日はありがとうございました！

<プロフィール>

荻上 健太郎（おぎうえ けんたろう）

1973年米国ミシガン州生まれ（34歳）

1998年日本財団に入会

ボランティア活動支援、国際協力プロジェクト担当を経て、現在は経営企画グループ情報コミュニケーションチームに所属。

日本を明るく元気にするため、公益活動を情報で支援する「公益活動の情報志援士」を自称。

助成金講座、情報発信・公開講座、ブログ活用講座など、様々なテーマによる講座を全国各地を飛び回って実施中。

詳しくは、私のブログ「晴耕雨読」をご覧ください！

(<http://blog.canpan.info/kaizokudan/>)

<連絡先>

電話：03-6229-5305

E-mail：k_ogiue@ps.nippon-foundation.or.jp

ブログ：<http://blog.canpan.info/kaizokudan/>